

平成 29 年 5 月  
第 370 号



清涯荘から見た早朝の雲海 (3/3)



お  
お

く  
て



おもな内容

- ・ おおくて寄席 …P2~P3
- ・ 新体制 (消防団) …P3
- ・ 町民パターゴルフ大会 …P4
- ・ 転入者紹介 …P5~P6

「おおくて寄席」 4/5 (水)

岐阜大学落語研究会による落語&漫才

# みんなで笑った「おおくて寄席」4/5(水)

“落語、どうだった？”返ってきた言葉は、「面白かった」「とにかく笑



った」。笑いに理屈なんかありません。それが落語や漫才ですから。それでも、もう一押しし「どこが」。どなたも「うーん」。しばらく考えて答えていただいた感想が次のようでした。

- 学生さん、よく勉強してみえるので感心した。
- 初めて目の当りで聞け感動した。
- 漫才のなぞかけも即興で、頭の回転の良さに感心した。
- 「分からんことはとにかく聞くこと」。人生これに徹することだと笑いの中でも学んだ。
- 「勉強々」と言われる中、こうした活動をされている落研のみなさん方が、近い将来教壇に立てれると思うと「いじめ」もなくなるのではと、嬉しくなった。
- 手振り身振りを交えての熱演にこちらものめりこんでしまった。

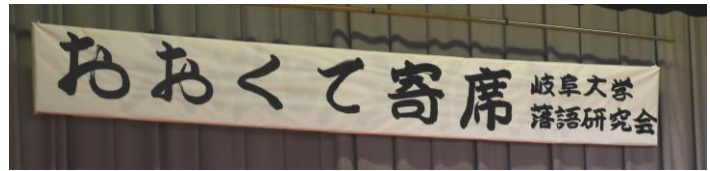


- 子どもたちにはむつかしいかと思ったけれど、話の筋をよく理解していたので安心した。
- 身近な話題から入り、しかも身振り手振りがあり、いつの間にか落語に引き込まれていた。
- 子どもさんたちが、あまりにもおもしろ

こうしていたのでびっくりした。日頃の躰の良さもあるけれど、落語がよかったからだと思った。

- 落語には興味がなかったが、分かりやすい内容で又、聞きたいと思った。参加してよかった。

コミ会長さんが、落語文字で書いてくださった看板も会場にマッチしており、事務局の方で



用意していただいた土足マットのお陰で会場の出入りもスムーズにでき、みんなで一つの輪を作り、会場を盛り上げていただきました。

学生さんをお送りされた区長会長さんが、「いいところにお邪魔でき、また機会があったら来たい。」と、学生さんの感想を伝えてくださいました。

みなさんありがとうございました。そしてお疲れさまでした。



## 新体制を迎えて

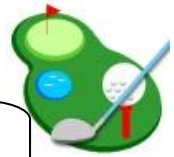
昨年度の渡邊やまと君に続き、陶芸家の秋山佳吾君を団員に迎え、新たな体制で消防団活動が始まりました。4月初旬に行われた入退団式には、多くの団員に参加して頂き親睦を深めることができました。

近年消防団員の確保が困難となっており、定員割れする部も出ている中で、区役による人員確保も検討され始めています。そんな中5部(大湫消防団)は少しずつメンバーを入れ替えながら何とか団員数を確保しています。以前は同じ大湫で生まれ育った仲間に入団してもらうことが常識でしたが、就職に際し町外に出る人も多く、団員の候補となる人材自体が不足してきました。そんな状況の中、大湫町に転入された若い方々に入団して頂けるようになり、消防団にも新しい風が吹き始めたなと思います。

最近では町外出身の若い人達と話す機会も増えてきましたが、昔からこの地で育ってきた自分達には当たり前になっていた事に高い価値観を感じられる人達がいることを知り、これからの大湫にとって重要な存在ではないかと感じています。消防団に限らず、この町に愛着を感じ住み続けている人と、この町に魅力を感じ移り住んでくれた人とが協力し合い、これからの大湫町を作っていけたらと思います。

大湫消防団 部長 足立 貴一

# 町民パターゴルフ大会4/23(日)



晴天に恵まれ、皆さんやる気満々です。

さあ、体をほぐ  
しましょう…!



新区長会長はじめ、  
H29 区長の紹介



区長会長がインスタート  
コミン会長がアウトスタート  
です……ファイト!!

新JA釜戸支店長と転入者の  
市川さん(神田地区)、溝口  
さん(西地区)の紹介



ようこそ、大湫へ…

家族と一緒に、  
友だちと、ご近  
所の方と参加

プレーする皆さ  
んの笑顔が素敵  
でしたよ



みんな、とっても  
楽しそうだね



今年も好プレー・珍プレーが…。参加された皆さんとても楽しそうでしたね。来年も天気にも恵まれることを祈ってます。

そしてスタッフのみなさん、ご苦労様でした。

平成 29 年度  
大湫町コミュニティ推進協議会  
定期総会開催 4 / 26 (水)

大湫公民館にて定期総会が会員 88 名中 74 名(委任状・出席者含む)の参加で開催されました。

尚、総会資料は別紙にて回覧させていただきます。町民の皆様、今年もよろしくお願ひします。

今年もふるさと体験交流会『田んぼの学校』田植えをします。

田植えの場所：ふれあい農園

日 時：平成 29 年 5 月 14 日 (日) 午前 9 時～

集合場所：ふれあいセンター

持ち物：水筒・手ぬぐい

\*よごれてもいい服装で来てね。軽食を予定しています。



うちわ展

うちわの図柄に見る「銀幕を飾った女優」

「風」のコレクター、高橋直勝さん。扇風機などの製品で業界をリードしてきた三菱電機中津川製作所の OB。高橋さんは、風を生み出す団扇を集めてみえました。瑞浪市での展示は初めて。丸森邸と大湫公民館でコレクションの展示をします。是非、見に来て下さい。



日 時：5 月 27 日 (土) ～6 月 11 日 (日)

午前 9 時～午後 4 時

場 所：丸森邸・大湫公民館

問合せ：Tel0572-63-2360

え絣も同時開催

普段着として愛用された絣。糸を染めてさまざまな絵柄を織る。ご覧あれ！

## 入園おめでとう

秋山 仁恵

三才の娘がこの春、幼稚園へ入園しました。一才半から大湫病院の託児所へ通い、一年半お世話になりました。少人数で大変手厚い保育を受けさせて頂いたと感謝しています。その分、新しい幼稚園でうまくやれるのか、親子で若干の不安があります。

話は変わりますが、この春、NHKの「おかあさんといっしょ」という番組のうたのおにいさんが変りました。私は以前のだいすけおにいさんが卒業だと知って涙ぐんだくらいでしたが、娘は「ちーちゃんは新しいおにいさんも目がくりくりしてて好きだよ」ときっぱり言い放ちました。あなたの切り替えの早さに母は期待しています。入園おめでとう。一緒に成長しましょう。

## 初めてのノルディックウォーキング

佐藤 隆一

昨年は、雨のための公民館内でのストレッチと講習のみでしたが、今年は朝から天気も良く、ウォーキングには最高。春を感じる一日の始まりでした。



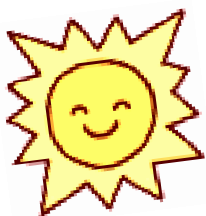
た。

参加人数も約

三十人位でした。

9時30分

の受付。それか



らストレッチ

講習の始まり。

初めてのノル

ディックウォ

ーキング講習

が終わった時

点で疲れを感じ

じ、大丈夫か

とも思いまし

たが、歩き出したら廻りの景色に新発

見。日頃車でしか通らない所も、こんな

風になつてるとんだと驚きです。

参加してくれた皆様もそうだった

と思います。

スポーツ推進委員の方、参加された

皆様お疲れ様でした。良い一日が過ぎ

せました。



# 大湫を好んだ「彼女」

〈前編〉

河端 久江

大湫は四季を通して美しく、情緒豊かな環境の中に人々は住んでいます。生きものたちも共に生きる「味わい」のある土地柄と言えるでしょう。

「彼女」も、この「味わい」がよく似合っていたように私は思います。

さて「彼女」とは・・・

ヒント①

大湫を中心に、広範囲に活動していると思われる彼女ですが、近年、庭隅の水場に現れたり、裏山の若草を食したりと、すっかりお馴染みさんとなっています。

大湫の皆様も以前から、野菜の被害を話題にされてきましたから、あーあの！とおわかりになる方もいらっしゃるでしょう。

ヒント②

四つ足歩行の彼女は八歳の美女、平均寿命が二十年程とのことですから、まだ若いですね。

ヒント③

天然記念物に指定されており、捕獲禁止の生きものです。

「彼女」とは「日本カモシカ」です。

山里に生きる動物にとっては、その環境が彼らに適しているために棲み、往来もするのでしよう。

このカモシカは野性動物としては大型になりませんが、大湫を好み、特に岩山を好み、餌のある野山へ足をのばしているようです。

カメラを向けてもおっとりと、優雅に、味わい深い容姿でポーズをとり、時には岩から岩へ飛び移る敏しようさも見られます。

私はこの野性の生きものに時折触れつつも、野性の本能には踏み込まないよう、そつと見守ってきていました。

さて、今年の四月六日、早朝の出来事でした・・・。

つづく

## 青色回転灯防犯 パトロール

5月

パトロール予定者

5/上旬

伊藤勝佑  
棚橋光義

5/下旬

吉野信幸  
小栗 司



幼稚園・小中学校 人事異動のご紹介です。

(一)転出・(二)退職

竜吟幼稚園



河野香織保育士 桔梗幼稚園へ

工藤ひと美調理員 (株)魚国総本社

(市給食委託業者)へ引き続き勤務

\*退職者 三浦志乃・水野紀美江

釜戸小学校

土屋昌徳教頭 中津川市立下野小学校校長として

伊藤めぐみ教諭 稲津小学校へ

山崎裕子教諭 瑞陵中学校へ(釜中・日吉中兼務)

工藤慎子講師 明世小学校へ

伊藤実希子講師 土岐小学校へ

小木曾真矢学業支援員 日吉小・中学校へ

丹羽知子校務員 陶小学校へ

\*退職者 木村有希子・藤田貞子

釜戸中学校

河合紗也香教諭 郡上市立八幡西中学校へ

森本碧講師 可児市立蘇南中学校へ

宮川恵子校務員 釜戸小学校へ

伊藤光代常勤講師 中津川市蛭川小学校へ

\*退職者 島田由貴子

(三)転入

竜吟幼稚園

近藤恭子保育士 職務復帰(育休より)

梅村美希保育士 新規採用

渡会ふみ子保育士 子育て支援スマイルより

工藤ひと美調理員 (株)魚国総本社

桑原美紀調理員 (株)魚国総本社

木田佳子調理員 (株)魚国総本社

釜戸小学校

後藤佳子教頭 中津川市立中津西小学校より

館林美和教諭 瑞浪小学校より

橋本純子教諭 瑞浪小学校より

南雲優希子教諭 釜戸中学校より

松岡純也講師 新規採用

加藤向日葵養護助教諭 高山市立清見中学校より

小木曾真矢学業支援員 瑞陵中学校より

加藤幸子非常勤講師 稲津小学校退職

山路奈菜子学業支援員 新規採用

鈴木富貴校務員 瑞浪中学校より

釜戸中学校

中島鈴夫主幹教諭 瑞陵中学校より

伊藤彰友希教諭 中津川市立第二中学校より

小倉永次教諭 陶小学校より

山崎裕子兼務教諭 釜戸小学校より

田中洋子校務員 稲津小学校より



お世話になった先生、ありがとうございました。そして、これからお世話になります先生、よろしくお願ひします。



## 『食育』

智・徳・体の三育が、人間として生きていく必須条件として守ることが求められて来た。

中には多くの人が歩まない道を選んで地位を得たり、事業を拡大して大成したりする人もある。

世の中の進化・発展と共に、誰もが避けて通れぬ「食育」の必要を痛切に感ずるこの頃である。一日に三度の食事を大方の人は食べているが、生きて行くために欠かせない。健康に生きるため、親は子に、子は親に教えられて育つ。それと現代はテレビの料理番組や料理家の書いた専門書を見て、新しい食べ方や健康によい食品を選んでスーパー等で買っている。安くて新鮮な食品を購入するのが主婦の腕の見せ所だが、安心して食べられる国産の野菜は高いので、輸入された外国産を

買う人が多い。地産地消が望ましいと思われるが、何を作っても農薬を散布しなければ見た目のよい野菜も果物も出来なくなつて来た。虫一つ食つていないトウモロコシや、健康によいと言われて消費が増えているトマトも、雨よけのビニールや収量を多くするための多肥と農薬散布は欠かせない。安全と言われている国産も農薬まみれの野菜が多くなつている。

昨今はすぐ食卓に供される加工食品が多く見られる。包丁もまな板もいらず、レンジでチンするだけで食べられる時代の到来である。その原料が何処で生産された物か判らず、国内で加工された食品が多いのに驚くばかりで、当然添加物が使用されている。健康に害があると専門家は警告しているが、厚生労働省はあまりにも種類が多過ぎて検査が出来ない状況である。

自分の健康は自分で守るしかないが、体調を崩せば病院で診療を受け薬に頼ることになる。それでも世界一の長寿国と言われており、これからも医学の進歩によつて百歳まで生きるのは難しくなくなった。勿論、長命は喜ぶべきだが、病院や施設で世話になる高齢者は増加するばかりで、国の医療費負担は四十兆円を突破し、介護費用や年金支給額を合わせると膨大な額になる。高齢者対策に迫られて次の世代を担う子供対策が後回しになつては国の将来はない。

せめて私達で出来ることや守ることとは、一日でも元気で暮らすことに尽きる。その為にも「食育」の必要を痛感するものである。

天野長三郎



### 出 会 い

植村 明美

暑さ寒さも彼岸までとありますが、四月に入ってから寒い日があり桜の開花も例年より遅くなり、まち遠しい春でした。でも、もう春本番。一年でいちばん気持ちよい季節を迎えました。

丸森もオープンから五ヶ月目に入り、あの寒かった頃よりお客様も増えてきました。

そんな中で出会った人、月に一度は訪ねて下さるおじさん、この方には丸森が出来る前からお休み処でお会いしていました。「ここ



は静かでいい」と言って30分くらい休んで帰られます。一宮から車でみえますが、高齢の方だからいつまでも元気でお会いできる事を願っています。

四月から外人さんのツアーも始まり多くの外人さんとお会いします。言葉は通じませんがスマホに写ったお孫さんを見せて下さり和やかな時をすごしました。孫を思う気持ちは日本も海外も同じだなと感じます。



先日小さい子供さんと若いご夫婦が見えました。本陣山へ登り、山伝いに琵琶峠まで歩かれたそうです。下のお子さんはお父さんに背負われていましたが、上のお子さんは歩かれたそうでよくがんばったねと伝えました。

私は月4日程の勤務ですので出会える人は多くありませんが、ここで知らない人に出会いお話する事は、いつまでも心に残り気持ちを豊にしてくれます。

丸森をたずねてくださった人が二度、三度と来て下さる様、楽しい催しを職員皆で考え、「来てよかった、観てよかった」と思ってもらえる丸森にして行きたいです。

町民の皆様もどうかご協力をよろしくお願い致します。



H.29

# 5月の集まり会

大湫町コミュニティ  
推進協議会  
集まり会

★ 5/13(土) 花の森自然観察会 です  
10時 大湫公民館 集合です。詳しくはお配りしたチラシを見て下さいね。瑞浪北中学校造成工事現場から見つかった化石も見せてもらいまあよ。お楽しみに!!

★ 5/14(日) 田植えをします(田んぼの学校)  
9時～ 高砂ふれあいセンターに集まって下さい。  
持ち物: すいとう, タオル, 汚れていい服  
軽食を用意します。(詳しくはお配りしたチラシを見て下さいね) 子どもたちも大人の方もぜひ体験して下さいね。

<太鼓の練習日>

• 5/6(土) 9時30分～大湫公民館で練習  
します。お天気が良ければ散歩しましょう。  
おにぎりを持ってきてくれる人は、外で食べて、楽しもうね。  
とてもいい季節でああ!!

• 5/20(土) 9時30分～大湫公民館で太鼓練習して  
から、神田のパターゴルフ場で遊びます!  
みなさん来て下さいね!

お知らせ 6/17, 18 のどちらか、ぜひあたる太鼓出演依頼が来ています。ただ今検討中でああ。

# 大湫宿における古民家再生への取り組み「西森川家」

地域の皆様お世話になります！

大湫宿では平成 26 年 2 月の雪害を切っ掛けとして、古民家の再生事業の機運が高まり、丸森邸は市の指定管理施設として再生オープンし、新森邸は市の所有物件として再生活用が検討されています。

一方、西森川家は、母屋のあった一角は山車蔵・駐車場として活用して頂いているものの、残された建物は利用しないまま老朽化が進んでしまいました。雪害で軒先が破損するなど安全面での不安も

増し困っておりましたところ、地元有志の皆さんや、JR 瑞浪駅周辺でボランティア清掃を行っている NPO 法人グリーンボードの皆さんの協賛により、清掃・再生事業に取り組むこととなりました。

3 月 11 日の清掃活動には、森川家の家族のほか地元有志の皆さん、東農信用金庫・十六銀行の若手職員の皆さんグリーンボードの皆さんの参加を頂き、きれいになっていくのを目の当たりにして感動いたしました。

私ども今後は、「民間ワイワイプロジェクト西森川チーム」として、古民家の再生に取り組む、大湫宿の街並み保全や古民家の活用に努めて参りたいと思いますので、地域の皆様にはご迷惑をおかけすることもあろうかと

存じますが、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

**追伸：**

**5 月 9 日**頃から街道筋の庇補修工事を始めたいと思いますので、通行にご不便をおかけしますがよろしく願いいたします。(森川)

また、**5 月 13 日 (土) 午前 9 時**から一部の蔵の瓦剥がしを行いますので、ご参加いただける方がありましたら、ご支援ください。(雨天中止)

西森川チーム (森川清史—所有者、棚橋和代—  
地元担当、玉川幸枝—企画担当)



新聞記事添付



古民家、住民集う場に

瑞浪市で築150年の空き家清掃

NPOが再生プロジェクト イベントなど活用へ

「NPO法人グリーンボード」の瑞浪チームは、瑞浪市大湫の旧中山道大倉に築150年以上の古民家（通称西森川邸）の清掃活動に取り組んだ。今後、イベントなどを通じて作家らの住居場としての再生を目指す。

瑞浪市は、古民家は瑞浪市が所有、50年以上の家で、蔵や座敷などの老朽化が激しく、町の景観を市の手を守る」と同チームが昨年「古民家再生プロジェクト」を立ち上げた。今後、瑞浪市の修復・修繕作業を市に清掃活動実施、東農信用金庫瑞浪、種菜、畜産

支店十六銀行瑞浪支店、地味住む男らし、計4人が参加した。二つの蔵と新蔵、角座敷にある家具や瓦、農具などを取り出した後、掃除機や雑巾で、3時間ほどかけて清掃に汗を流した。

同チームは、瑞浪市大湫の旧中山道大倉に築150年以上の古民家（通称西森川邸）の清掃活動に取り組んだ。今後、イベントなどを通じて作家らの住居場としての再生を目指す。

同チームは、瑞浪市大湫の旧中山道大倉に築150年以上の古民家（通称西森川邸）の清掃活動に取り組んだ。今後、イベントなどを通じて作家らの住居場としての再生を目指す。

「大湫公民館・大湫コミからのお知らせ」

オススメ！大湫分室の本  
「日照条件でわかる  
宿根草ガイドブック」  
小黒晃：著  
庭や玄関先にお花を…と  
思っても、日陰だったり逆に陽が当たり過ぎたりと条件が難しいもの。この本は6種類の日照条件で宿根草を紹介しています。

ご招待券あります（各2名様）

\*企画展

「瑞浪陶芸協会作品展  
今をつくる」

期間：5月7日まで

会場：瑞浪市陶磁資料館

利用者へのお願い

公民館内備品やふれあいセンター・物置等にありますイス・テーブル・テントなどの利用は、公民館にあります『借用書』の申請が必要です。

また、公民館内のテーブル（キャスター付き）は室外での使用を禁止（例外除く）しております。使用される方は室外用を貸出ししますのでお申込みください。  
公民館：☎63-2360

\*大湫宿お休み処

5月の営業は3日(水)・4日(木)・5日(金)・7日(日)・14日(日)・21日(日)・28日(月)です。

皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

\*おもだか屋『ほっか』

5月営業日（原則）毎週金、土、日曜日

営業時間 AM10:00～PM2:00

（ただし、営業日は変更になる事もあります。）

リ・アップ “ひよも” だより

5月のお茶のみ会のおさそい

日時 5月3日（水曜日）9:30～11:00頃まで

場所 大湫老人作業所

参加費 50円

お待ちしています

## 区長日記

この度、神田（桐井賢次氏）北（渡辺隆吉氏）西（香山四一氏）に新しい区長が就任され、私が一番古株ということで区長会長を仰せつかりました。なにぶん少子高齢化が進展し人口が減少する中で、地域の課題は山積しております。役員並びに事務局の皆様とともに、チームワークを大切に町民の皆様のご意見をいただいて、一步一步前進して参りたいと思いますので、何卒温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この4月には、市議会議員・区長会長・コミ会長として昭和から平成へと大湫町の運営に多大な貢献をしていただきました安藤秋義さんが、また神田では板橋道子さんが他界され、大きな時代の転換を実感しております。これまでの故人のお骨折りに心から感謝申し上げますとともに、衷心よりご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

今年、長年大湫町民の心の拠り所となってきた大湫小学校舎や、都市の若者との交流の拠点となってきた岳見高原キャンプ場の建物が取り壊されることとなり、こうした施設面でも一つの時代の終焉を示しております。一方、丸森邸が修復後指定管理施設として公開され、新森邸は市所有建物として活用が検討され、米屋は町所有建物としてどのように生かすかを課題とし、西森川家では民活での再生活動が取り組まれるなど、宿場町の新たな活用の兆しが出てきているのも、また時代の胎動と言えるでしょう。

ここ数年、「廃校プロジェクト」・「オオクテ・ツクルテ」を切っ掛けとして、芸術を志す若者が大湫町を活動の場として、転入される事例が続き、来年には彫刻家天野裕夫氏が活動の拠点を大湫に移されるなど、地域の活力に繋がる新しいエネルギーを感じる機会も増えていきます。

山間に残り残された小さな集落という個性を、負の遺産として卑下することなく、コミュニティ活動30周年を竹の一節として、宿場町大湫の新たな魅力を創造し、次の時代を切り開いて行こうではありませんか。

4月5日 社協大湫支部「大湫寄席」

7日 定例区長・幹事会（市長来訪）

8日 転入対策委員会

11日 「みんなの農園」作戦会議

12日 新旧区長・組長会議

13日 第一回オオクテ・ツクルテ実行委員会

18日 女性代表と語る会

19日 夢づくり（通常事業）プレゼンテーション

23日 町民パターゴルフ大会

キャンプ場・小学校現地点検

25日 連合自治会

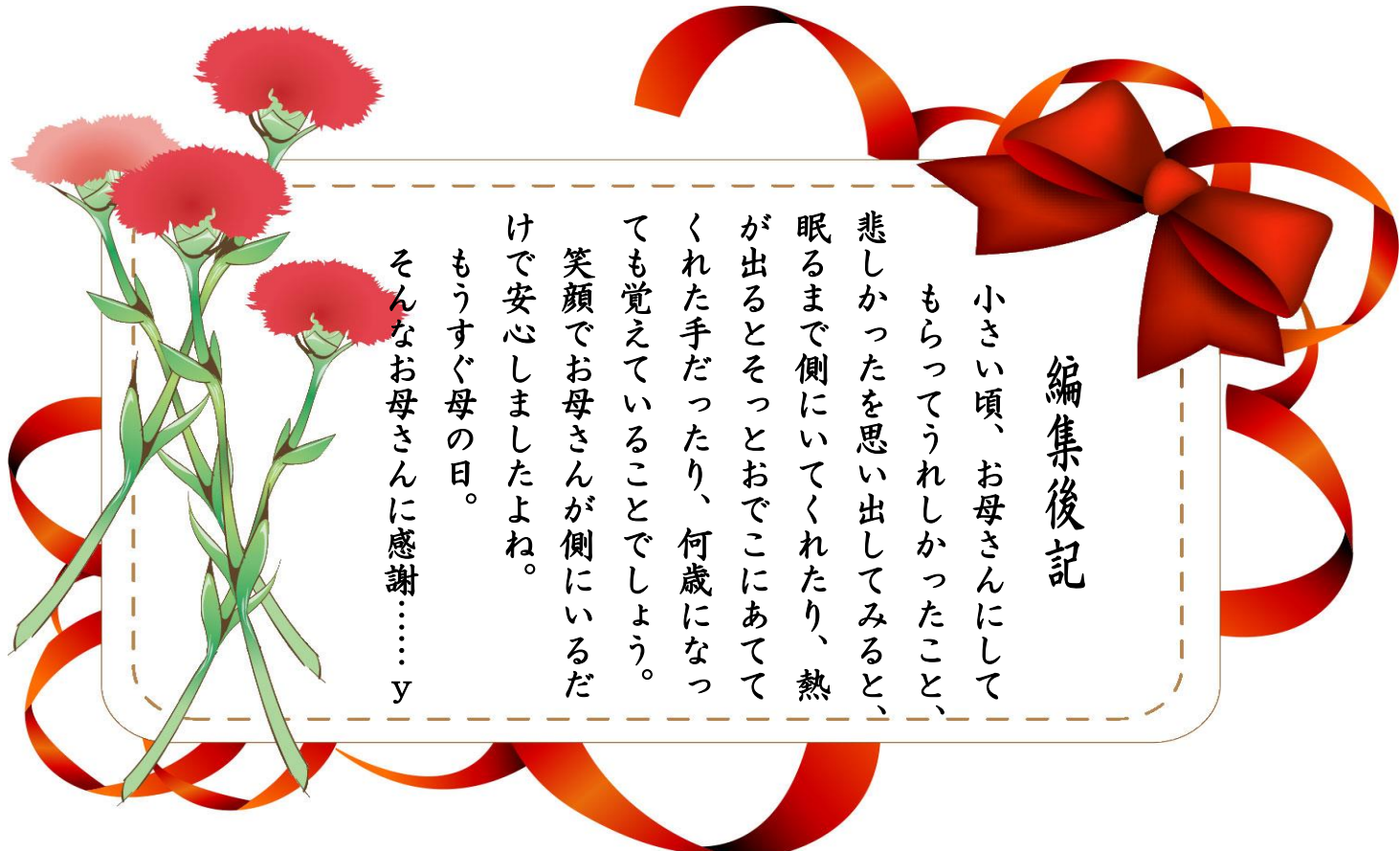
26日 大湫町コミュニティ推進協議会総会

29日 「みんなの農園」圃場整備事業

平成二十九年五月行事予定

日	曜	予	定
一	月	財産区全員会議	
三	水	*憲法記念日	
四	木	*みどりの日	
五	金	*こどもの日	
六	土	集まるう会（太鼓・他）	
七	日	大湫ふるさと学習パート②	
八	月	定例区長・幹事会	
十	水	社協大湫支部会 / からだづくり教室 / 釜中・小学校引渡訓練	
一三	土	おしゃべりサロン 花の森自然観察会	
一四	日	みんなの農園（田植え予定） 釜中二年篠島研修（～一五日）	
一九	金	釜小修学旅行（～二〇日）	
二〇	土	集まるう会（太鼓・他）	
二一	日	第一回資源回収	
二三	火	釜中一年乗鞍研修（～二四日）	
二五	木	釜小地球村宿泊研修（～二六日）	
二七	土	『うちわ展』（六月十日まで） おしゃべりサロン	
二八	日	第一回資源回収予備日 釜中三年東京研修（～三〇日）	
三〇	火	広報委員会	

今月の資源ごみ: 5/23(火) 不燃ごみ: 5/9(火)



編集後記

小さい頃、お母さんにしてもらってうれしかったこと、悲しかったを思い出してみると、眠るまで側にいてくれたり、熱が出るのとそっとおでこにあててくれた手だったり、何歳になっても覚えていえることでしょう。笑顔でお母さんが側にいるだけで安心しましたよね。もうすぐ母の日。そんなお母さんに感謝……y

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
 平成29年5月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360  
<http://okute-shuku.in/>